

事業番号	30
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	社会体育振興事業				担当課	スポーツ振興課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	スポーツ振興係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	⑥ 学習・スポーツ活動の環境を充実する（生涯学習・スポーツ振興）					
	成果指標	市民のスポーツ実施率	中間目標 (H27)	52%	最終目標 (H32)	57%	
予算区分	一般会計	10 款 教育費	7 項 保健体育費	1 目 保健体育総務費			
	細事業	304 保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）					
位置づけ	関連計画	新・湖西市総合計画 2011～2020					
	根拠法令	スポーツ基本法第32条					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	市民一人一スポーツを目指し、スポーツ及びニュースポーツの普及を進め、社会体育の振興を図る。						
内容(概要)	社会体育振興のため、スポーツ推進審議会委員の意見を聴いて年間基本計画を定め、スポーツ推進委員を中心として、各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。						
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 2 1 年度 ニュースポーツ出前講座の開設 ・ H 2 1 年度 早起きウォーキングコース見直し ・ H 2 2 年度 合併により事業見直し ・ H 2 2 年度 早起きウォーキングコース見直し・新設 ・ H 2 3 年度 早起きウォーキングコース見直し・新設 						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	496	1,357	679	(内訳)
	決算	453	1,288		物件費(賃金) 862
財源内訳	国庫支出金				物件費(消耗品費) 322
	県支出金				物件費(備品購入費) 17
	地方債				補助費等(保険料) 87
	その他				1,288
	一般財源				
職員人件費	4,403	3,410	3,134	人工	0.4 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	早起きウォーキング・ニュースポーツ講習会の開催回数		回	目標 37	34	28
実績 37			34			
参加人数		人	目標 1,560	1,560	1,040	79%
		実績 1,336	1,226			
			目標			
			実績			

実績・改善	平成23年度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会定例会・企画委員会の開催 ・早起きウォーキング・ニュースポーツ講習会の開催 ・研修会、協議会、研究大会への出席 				
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市推進委員事業、他団体への推進委員派遣要請事業等スポーツ事業の日程が重複することがある。 ・ニュースポーツ講習会への新しい参加者が少なくなっている。 				
	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ事業の日程が重複した時、事業の優先度、必要度を協議し、調整した。 ・ニュースポーツ講習会への新規参加者を増やすため、各地域での出前講座を行った。 				
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ講習会への新規参加者を増やすため、平成24年度は企業に出向いて出前講座を行う。 				効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の達成状況	自動車業界の夏場の土日出勤の影響はあったが、概ね予定された参加者を得て計画した事業を行うことができた。				
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	市民に無料で、スポーツを行うきっかけづくりや指導するものであり、スポーツの持つエネルギー（生活への活力）を提供できなくなる。				
	判定	A 継続	より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
	判定理由	スポーツ基本法に基づき、社会体育振興のためスポーツの普及を図る必要があることから、市が継続して事業を実施する必要がある。				
今後の方向性	誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことが出来る生涯スポーツ文化の創造をめざす。					